

東京理科大学薬学部医療薬学教育研究支援センター エキスパート養成講座

困難な問題に立ち向かう！妊婦・授乳婦領域における薬剤師の役割とは

日 時：令和2年1月13日（月） 10:00-17:00

東京理科大学 神楽坂キャンパス 3号館7階

受講料：5,000円（定員25名） ※日本薬剤師研修センターシール4単位交付

申込受付期間：令和2年1月6日（月）まで

持参するもの：なし

妊婦・授乳婦領域の薬物療法とは何か。現在は合併症を抱えながらの妊娠例が多く、薬剤の催奇形性は大きな問題となります。一方、安易に薬物療法を避けてしまうような状況では、母体の良好な健康状態を保てません。薬剤師は薬剤のリスクを見極め、問題解決への取り組みが望まれています。授乳期も同様で、母乳育児のメリットを理解し、薬剤の使用と両立できるようサポートする必要があります。

本講座では、基本的な講義からはじめ、リスク評価や、患者へのカウンセリングトレーニングを行います。これらを通じて、今、薬剤師に必要とされることを学ぶことを目的としています。

■参加対象

薬剤師（病棟・在宅など臨床経験原則3年以上）または企業・教員など医薬品情報に関わっている方（医薬品情報業務経験原則3年以上）

※次世代薬剤師を目指す意欲ある方、医薬品情報に携わっている方の参加を希望いたします。

■講座概要

講 師：中島 研

（国立病院機構相模原病院 薬剤師、日本病院薬剤師会妊婦授乳婦 専門薬剤師、
同試験委員会委員長、研修委員会委員）

チューター：八鍬奈穂

（国立成育医療研究センター 薬剤師、日本病院薬剤師会妊婦授乳婦 専門薬剤師）

宇野千晶

（国立成育医療研究センター 薬剤師、日本病院薬剤師会妊婦授乳婦 薬物療法認定薬剤師）

講義後にSGD、発表、カウンセリング実習、総括を行います。

【受講予約お問い合わせ】

受講希望の方は下記サイトからお申し込みください。入金確認後、講座実施日の前日までに本学よりメールにて「受講許可証」を送付いたします。

東京理科大学薬学部 医療薬学教育研究支援センター（SCCPER）

申し込みサイト：<https://www.tus.ac.jp/sccper/>

東京理科大学薬学部 小茂田昌代 komo1207@rs.tus.ac.jp